

1. 科目名 (単位 数)	文章表現Ⅱ (アカデミック・ライティング) (4 単位)	3. 科目番号	GELA2307
2. 授業担当教員	黒田 智隆		
4. 授業形態	講義・ディスカッション・グループワーク	5. 開講学期	通年
6. 履修条件・ 他科目との関係	社会の中で通用する表現力やコミュニケーション能力の育成 (たくさん書きましょう。)		
7. 講義概要	<p>この授業は、大学生として求められるアカデミック・ライティングの実践的なスキルをトレーニングしていくことを目的としています。</p> <p>具体的には、「問題設定」、「調査」、「文章作成」についての課題に取り組む中で、アカデミック・ライティングのルールを確認していきます。その上で、受講生それぞれ (個人あるいはグループ) が、「問題設定」、「調査、情報収集」を行ったうえで、レポートなどの適切な形にまとめていきます。</p> <p>さらに、受講生のレベルに応じて、レポート作成の基礎となる文字表記、語彙力の向上のための小テストも行います。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学で必要とされるアカデミック・ライティングの知識とルールを身につける。</li> <li>2) 自分の考えたことから、レポートなどの問題設定をすることができるようになる。</li> <li>3) 自分の調査課題について、必要な情報収集、文献検索の技術を身につける。</li> <li>4) 調査課題について調べたことを、レポートなどの適切な文章にまとめることが出来る。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポ ート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習課題に指示した事前学習・事後学習を必ず行った上で授業に参加すること。</li> <li>2) 課題などを記録したノート (指定の教科書についているワークブックを使用) を提出する。</li> <li>3) 授業を通して、自ら設定したテーマについてレポートを作成する。詳しい作成方法などについては、授業中に説明する。</li> </ol>		
10. 教科書・参考 書・教材	<p>【教科書】 福嶋健伸、橋本修、安部朋世編『大学生のための日本語表現トレーニング ドリル編』三省堂、2010 年</p> <p>【参考書】 福嶋健伸、橋本修、安部朋世編『大学生のための日本語表現トレーニング 実践編』三省堂、2009 年</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大学で必要とされるアカデミック・ライティングの知識とルールを身につけることができたか。</li> <li>2) 自分の考えたことから、レポートなどの問題設定をすることができるようになったか。</li> <li>3) 自分の調査課題について、必要な情報収集、文献検索の技術を身につけることができたか。</li> <li>4) 調査課題について調べたことを、レポートなどの適切な文章にまとめることが出来たか。</li> </ol> <p>○評定の方法：以下の点を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業への参加態度 総合点の 30%</li> <li>2 授業内課題 総合点の 40%</li> <li>3 提出物 (レポート等) 総合点の 30%</li> </ol>		
12. 受講生への メッセージ	<p>この授業では、アカデミック・ライティングの知識とルールを「実践」しようとする受講生それぞれの継続的な取り組みを重視します。日頃のレポート作成や資格試験や就職試験の際に記述する活動が断然進歩するはず。大学生としてのリテラシーを磨き、自分が思ったり感じたりしたことを表現することができるのは、きっと未来の自分づくりになるはず。</p> <p>また、分からないことは、担当教員に必ず質問、確認をすること。また、レポートの書き方は、授業の時だけでなく社会に出てから書くことになる企画書や報告書の基礎となります。そのようなレポートの書き方について学ぶ科目ですので、心して臨んでください。</p>		
13. オフィスアワー	初回の授業時に指示します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	アカデミックワードと日常語・仮名遣い・送り仮名	事前学習	教科書の目次・テキスト第 1 章・第 2 章を読み、この授業を通して、何が出来るようになりたいのかを考えておく。
		事後学習	この授業での目標をノートにまとめてみる。
第 2 回	レポート作成などにおける句読点	事前学習	テキスト第 3 章を読んだ上で、トレーニングシートの課題に記入しておく。
		事後学習	今回、学んだ表現や気づいたことをノートに記入しておく。
第 3 回	四文字熟語・ことわざ・慣用句を使用した文章	事前学習	テキスト第 4 章を読んだ上で、トレーニングシートの課題に記入しておく。
		事後学習	トレーニングシートの課題 3 をノートに記入し、第 4 回の授業で提出する。
第 4 回	論文記述などにおける漢字の使い分け	事前学習	テキスト第 5 章を読んでおく。
		事後学習	トレーニングシートの課題に記入した議事録を見直しておく。
第 5 回	見やすい表記	事前学習	テキスト第 6 章を読んでおく。
		事後学習	授業を振り返り、意見交換の注意点をノートに記入しておく。
第 6 回	敬語の使用	事前学習	テキスト第 7 章と配付プリントを読んだ上で、トレーニングシートの課題 1 (p.15) に

			記入しておく。
		事後学習	トレーニングシートの課題3をノートに記入しておく。
第7回	手紙・依頼文章の書き方・実習先礼状など	事前学習	テキスト第8章を読んでおく。
		事後学習	トレーニングシートの課題に取り組み第8回の授業で提出する。
第8回	e-mailの作成とネチケット ノート提出(1回目)	事前学習	テキスト第8章を読んでおく。
		事後学習	トレーニングシートに取り組む。
第9回	第9章 インターネットを用いて調査する	事前学習	配付プリントの課題についての検索を行っておくこと。
		事後学習	課題の補足をしてプリントに記入しておく。
第10回	あいまいな文章の修正	事前学習	テキスト第10章を読んだ上で、トレーニングシートの課題に記入しておく。
		事後学習	トレーニングシートの課題に取り組み、ノートに記入しておく。
第11回	分かりやすい語順と説明の論理	事前学習	テキスト第11章を読んだ上で、トレーニングシートの課題に記入しておく。
		事後学習	トレーニングシートの課題に取り組み、ノートに記入しておく。
第12回	長い文章を分ける・長文読解の方法	事前学習	テキスト第12章を読んで、長い文章を分けるということ学習してくる。
		事後学習	自分の「問題設定」を、ノートに記入しておく。第13回の授業で提出する。
第13回	文章のねじれを考える 堅実なレポートの書き方を学ぶ ノート提出(2回目)	事前学習	テキスト第13章を読んだ上で、トレーニングシートの課題に記入しておく。
		事後学習	レポートの体裁の注意点を確認しておく。
第14回	接続表現の使い方・説明行為の進行	事前学習	テキスト第14章を読んでくる。
		事後学習	接続表現を適切に入れた文章に書き替えてくる。
第15回	結論を先に述べる 小論文を作成する	事前学習	テキスト第15章についてしっかり読み、組み立てプランをノートに記入しておく。
		事後学習	結論を先に記述した堅実なレポートの作成をして(文字数1200字越え)提出できるようにする。
第16回	事実と意見の違いをはっきりさせた文章	事前学習	第16章をしっかり読んでくる。しようとするレポートについての見直しを行う。
		事後学習	第16章をしっかり読んでくる。しようとするレポートについての見直しを行う。
第17回	データの解釈を行う	事前学習	テキスト第17章を読み、課題データの分析ができるようにしてくる。
		事後学習	今回の授業で学んだデータ解釈の方法を復習する。
第18回	レポートの内容と執筆スケジュール	事前学習	第18章を読み、レポートの執筆スケジュールを、自分の課題として考えてくる。
		事後学習	手書きの書式とパソコンを使用した書式の違いなどを自分で復習する。
第19回	文献の検索・図書館・インターネット	事前学習	第19章をしっかり読み、文献の検索や図書館やインターネットを使った検索方法とそれを使つての記述のルールをつかむ。
		事後学習	文献の検索や図書館やインターネットを使った検索方法とそれを使つての記述のルールをつかむ。
第20回	調査課題の設定・アンケート依頼文・フェイズシート・設問	事前学習	第20章を読み、調査課題の設定の仕方を考えてくる。
		事後学習	グループで、依頼文フェイスシート・設問を考えて調査を実施する。
第21回	レポートの構成・注・参考文献の記述	事前学習	第21章22章・23章を読んでくる。
		事後学習	注・参考文献の記述方法など完全にマスターする。
第22回	体裁・書式	事前学習	第24章を読んで参加する。
		事後学習	直近に書いたレポートの下書きなどを見て直してみる。
第23回	レポート課題とレポートを書く順序	事前学習	第25章を読んでくる。
		事後学習	適切なレポートの書き方を完全にマスターする。
第24回	先行研究の活用の仕方	事前学習	第26章を読んで参加する。
		事後学習	先行研究を引用したり、内容を確認に使つたりする方法を学ぶ。

第25回	調査の概要・調査結果と考察の記述	事前学習	グループで実施したアンケート調査を分析・集約してくる第20回の資料を使用。
		事後学習	グループで行った調査結果を学んだ方法でまとめる。
第26回	結論と今後の課題・そして「はじめに」へ	事前学習	テキスト第29章・30章を読んで参加する。
		事後学習	トレーニングシートの課題に記入しておく。
第27回	ディベート根拠のある立論	事前学習	配付資料に基づいて何をテーマにディベートをするかを考えてくる。
		事後学習	グループごとにディベートのシナリオを完成させてくる。
第28回	ディベート根拠のある反駁	事前学習	反駁の方法について配付資料を読んでくる。
		事後学習	グループごとに反駁の入っているシナリオを書く。
第29回	エントリーシートの書き方	事前学習	配付資料を参考に、自分自身の興味関心でのエントリー先を考えてくる。
		事後学習	エントリーシートを完成させて提出できるようにしてくる。
第30回	これまでの内容の振り返り、最終レポート提出	事前学習	この授業の内容を振り返り、出来るようになったことを考えておく。
		事後学習	これからの目標をノートに記入しておく。